

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月13日

上場会社名 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
 コード番号 4739 URL <http://www.ctc-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理室長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 奥田 陽一
 (氏名) 谷 隆博
 配当支払開始予定日

TEL 03-6203-5000
 平成20年12月5日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	131,626	—	2,806	—	3,106	—	1,336	—
20年3月期第2四半期	140,285	19.4	7,899	△24.2	8,356	△21.7	4,630	△9.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	20.40	20.40
20年3月期第2四半期	69.53	69.52

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	％	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	213,641	—	141,748	—	66.1	2,171.51	—	
20年3月期	218,092	—	145,712	—	66.6	2,207.44	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 141,213百万円 20年3月期 145,172百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
21年3月期	—	40.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	325,000	1.8	23,000	△8.1	23,500	△9.8	13,500	△12.4	207.93

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 66,000,000株 20年3月期 67,000,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 970,022株 20年3月期 1,234,897株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 65,509,587株 20年3月期第2四半期 66,594,823株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 平成20年10月28日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて、平成20年4月30日に公表いたしました業績予想を修正しております。

3. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

4. 本日(平成20年11月13日)開催の当社取締役会において、自己株式の取得について決議いたしましたため、「3. 平成21年3月期の連結業績予想」における1株当たり当期純利益は、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

なお、当該自己株式の取得に関する事項は、本日公表の「自己株式の取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

当連結会計年度より四半期連結財務諸表規則を適用しているため、「1. 連結経営成績に関する定性的情報」における前年同期比較分析については、前年同期の参考値を使用しております。

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題を契機とした世界的な金融市場の混乱や原燃料価格の高騰、円高の進展等が実体経済や企業収益にも影響を及ぼし、景気の下振れリスクが高まりました。情報サービス産業におきましても、競争力確保のためのシステム投資やアウトソーシング需要は依然として底堅いものの、企業収益の悪化や景気の先行き懸念を反映した投資抑制など慎重な姿勢が強まりつつあります。

このような状況下、当社グループにおきましては、中長期にわたり安定した収益基盤を構築すべく、製品販売への依存度を引き下げ、総合力を活かした保守・運用サービスや開発・SIビジネスの拡大に注力いたしました。分野別では、インターネットや半導体関連ビジネス、金融機関向けなどで投資抑制や案件規模の縮小等の動きが見られたものの、通信業界向けではNGNやWiMAX等の次世代ネットワーク関連でのビジネス獲得が進んだほか、金融業界向けでのリスク管理系システム、流通業界向け主要顧客における基幹系大型案件、公共関連ビジネスなどで受注実績を積み上げました。また、システムの安定稼働やアウトソーシング需要を受けて、仮想化技術を活用したサービス展開や運用基盤の整備に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は131,626百万円（前年同期比6.2%減）となりました。企業業績の悪化に伴う投資抑制やインフラ投資の一巡などを受けて、ハードウェアを中心とした製品販売が低調に推移したほか、サービス・開発ビジネスの拡大に伴う売上計上の長期化傾向などにより、受注残高は151,624百万円と過去最高水準に到達しました。利益面では、ビジネスモデルの変革を推進する中、開発不採算案件が増加したことにより、売上総利益率は前年同期の25.2%から24.8%に低下いたしました。販売費及び一般管理費は、人員増強や社内システム更新に伴う費用増等もあり29,873百万円（同8.8%増）となり、営業利益は2,806百万円（同64.5%減）となりました。また、持分法による投資利益の減少や投資有価証券評価損の計上等から、経常利益は3,106百万円（同62.8%減）、四半期純利益は1,336百万円（同71.1%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて4,450百万円減少し、213,641百万円となりました。これは、主にたな卸資産の増加が16,099百万円あったものの、受取手形及び売掛金の減少が20,124百万円あったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて486百万円減少し、71,893百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて3,963百万円減少し、141,748百万円となりました。これは、主に四半期純利益による増加が1,336百万円あったものの、配当金の支払いによる減少が2,630百万円、自己株式の取得による減少が2,501百万円あったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、世界的な景気後退がより鮮明となっており、企業の設備投資減少や価格低下圧力の増大など、当社グループを取り巻くビジネス環境は厳しさを増すことが予想されます。

このような認識のもと、当社グループにおきましては、第2四半期連結累計期間における業績進捗状況等を踏まえ、平成20年10月28日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しており、同日時点での通期の連結業績予想からの変更はございません。詳細については、当該資料についてもご参照ください。

なお、平成20年10月28日付で修正した通期の連結業績予想と、平成20年4月30日に公表したものととの差異は以下のとおりであります。

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	335,000	26,000	26,700	15,600	237.21
今回発表予想 (B)	325,000	23,000	23,500	13,500	207.93
増減額 (B-A)	△ 10,000	△ 3,000	△ 3,200	△ 2,100	—
増減率 (%)	△ 3.0	△ 11.5	△ 12.0	△ 13.5	—
(ご参考) 前期実績 平成20年3月期	319,289	25,013	26,054	15,419	232.70

(注) 1. 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 「今回発表予想 (B)」の1株当たり当期純利益については、本日（平成20年11月13日）開催の当社取締役会において、自己株式の取得について決議いたしましたため、当該自己株式の取得の影響を考慮したものに置き換えております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更

商品の評価基準及び評価方法は、従来、「個別法による原価法(一部の商品については移動平均法による原価法)」を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、主として「移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)」に変更しております。このうち、評価基準については、第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)が適用されたことに伴う変更であり、評価方法については、昨今、当社グループの取扱商品が多様化していること、また、当連結会計年度において当社グループの基幹システムを変更することを契機に、商品の払出原価の算定を適時に行うことを目的とした変更であります。

なお、これらの変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

③リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、平成20年3月31日以前に取引を開始した所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来同様、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,318	24,210
受取手形及び売掛金	44,016	64,141
有価証券	43,971	41,966
商品	23,390	10,593
仕掛品	8,872	5,470
保守用部材	5,271	5,370
前払費用	16,992	10,987
その他	10,850	15,432
貸倒引当金	△75	△124
流動資産合計	169,608	178,048
固定資産		
有形固定資産	18,454	14,331
無形固定資産	5,984	6,265
投資その他の資産		
その他	19,640	19,493
貸倒引当金	△47	△46
投資その他の資産合計	19,593	19,447
固定資産合計	44,032	40,043
資産合計	213,641	218,092
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,840	28,917
未払法人税等	1,698	7,649
前受収益	19,799	15,673
賞与引当金	5,254	6,564
受注損失引当金	221	243
アフターコスト引当金	498	310
その他	16,932	11,924
流動負債合計	69,246	71,281
固定負債		
退職給付引当金	271	260
その他	2,375	838
固定負債合計	2,647	1,098
負債合計	71,893	72,380

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,763	21,763
資本剰余金	33,076	33,076
利益剰余金	89,133	94,099
自己株式	△3,334	△4,526
株主資本合計	140,638	144,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	606	768
繰延ヘッジ損益	△12	△7
為替換算調整勘定	△19	△0
評価・換算差額等合計	574	760
少数株主持分	534	539
純資産合計	141,748	145,712
負債純資産合計	213,641	218,092

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	131,626
売上原価	98,945
売上総利益	32,680
販売費及び一般管理費	29,873
営業利益	2,806
営業外収益	
受取利息	200
受取配当金	96
持分法による投資利益	35
その他	92
営業外収益合計	423
営業外費用	
支払利息	11
投資事業組合運用損	69
その他	43
営業外費用合計	124
経常利益	3,106
特別利益	
投資有価証券売却益	70
貸倒引当金戻入額	45
特別利益合計	115
特別損失	
固定資産除却損	56
減損損失	19
投資有価証券評価損	216
アフターコスト引当金繰入額	228
損害賠償金	78
特別損失合計	598
税金等調整前四半期純利益	2,623
法人税、住民税及び事業税	1,933
法人税等調整額	△716
法人税等合計	1,217
少数株主利益	70
四半期純利益	1,336

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前期末残高	21,763	33,076	94,099	△4,526	144,412
当第2四半期末までの変動額					
剰余金の配当			△2,630		△2,630
四半期純利益			1,336		1,336
自己株式の取得				△2,501	△2,501
自己株式の消却(注)			△3,665	3,665	—
その他			△7	28	21
当第2四半期末までの変動額合計	—	—	△4,966	1,192	△3,773
当第2四半期末残高	21,763	33,076	89,133	△3,334	140,638

(注) 平成20年6月30日付で自己株式 1,000,000株を消却しております。

「参考資料」

四半期連結損益計算書

前第2四半期連結累計期間（平成19年4月1日～9月30日）

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第2四半期)
	金額(百万円)
売上高	140,285
売上原価	104,918
売上総利益	35,366
販売費及び一般管理費	27,466
営業利益	7,899
営業外収益	
受取利息	179
受取配当金	68
持分法による投資利益	105
その他	174
営業外収益合計	528
営業外費用	
投資事業組合運用損	36
その他	35
営業外費用合計	71
経常利益	8,356
特別利益	
投資有価証券売却益	241
アフターコスト引当金戻入益	126
貸倒引当金戻入益	15
特別利益合計	382
特別損失	
固定資産除却損	73
減損損失	13
投資有価証券評価損	430
特別損失合計	517
税金等調整前四半期純利益	8,221
法人税、住民税及び事業税	2,749
法人税等調整額	827
少数株主利益	14
四半期純利益	4,630